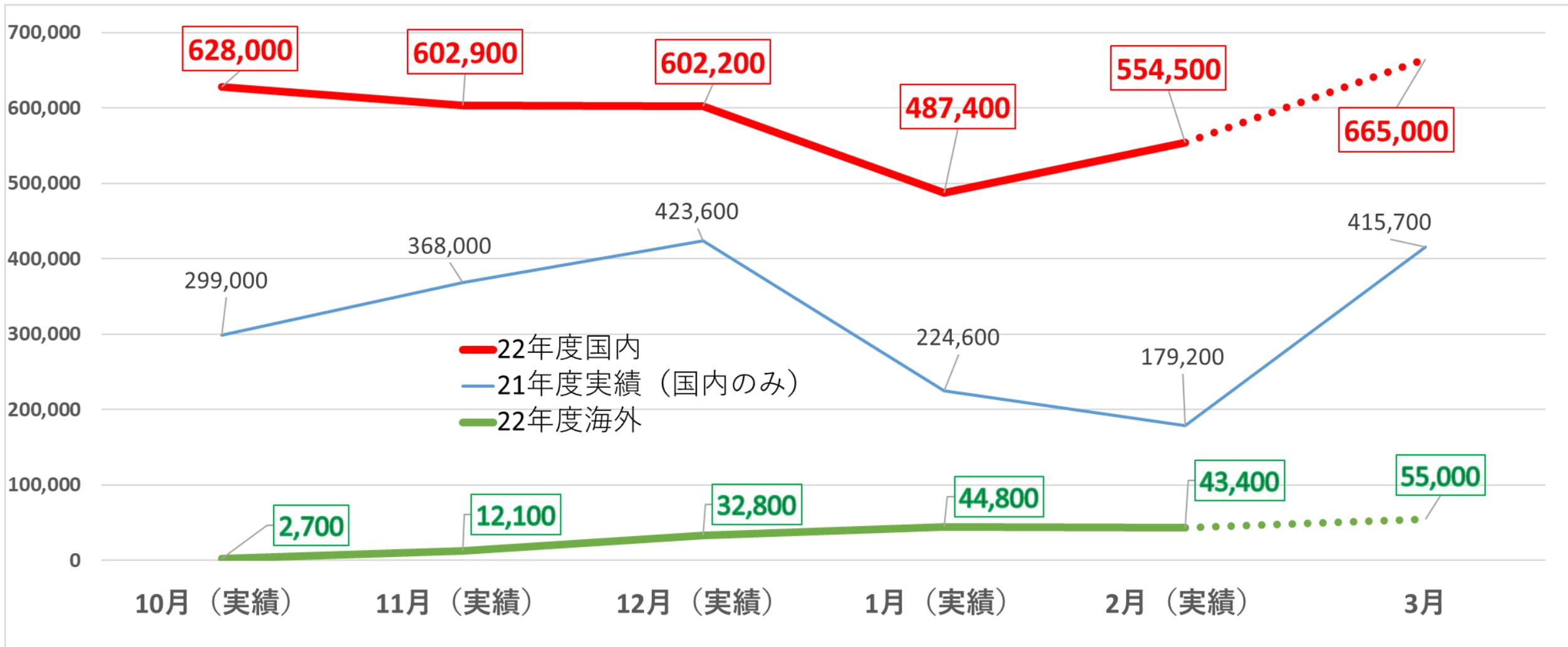


1. 2022年度3月入域観光客数見通し

	上期(4-9月)計	10月 (実績)	11月 (実績)	12月 (実績)	1月 (実績)	2月 (実績)	3月	下期(10-3月)	22年度計
22年度国内	2,997,500	628,000	602,900	602,200	487,400	554,500	665,000	3,540,000	6,537,500
22年度海外	100	2,700	12,100	32,800	44,800	43,400	55,000	190,800	190,900
22年度国内・海外合計	2,997,600	630,700	615,000	635,000	532,200	597,900	720,000	3,730,800	6,728,400
21年度実績 (国内のみ)	1,364,200	299,000	368,000	423,600	224,600	179,200	415,700	1,910,100	3,274,300
対21年度比(国内)	219.7%	210.0%	163.8%	142.2%	217.0%	309.4%	160.0%	185.3%	199.7%
対19年度比 (国内)	80.4%	101.2%	100.5%	105.2%	91.2%	104.6%	168.8%	242.8%	93.7%
対19年度比 (国内・海外)	56.0%	73.8%	75.4%	79.8%	67.0%	93.8%	167.8%	217.5%	71.1%



旅行需要は回復基調が続く。3月も全国旅行支援効果や春休み需要が連休周辺を中心に好調に推移しているため、コロナ前と同水準の旅行需要を見込む。
国際線(台湾、香港、韓国線)の需要も引き続き回復傾向となっている。

- ・3月 : 【国内】 全国旅行支援効果や春休み需要により、入域観光客数はコロナ前とほぼ同水準の**66.5万人**(※2019年3月対比101.2%)と見込む。
航空便の予約率も好調で、特に東京・大阪発沖縄線(離島含む)の需要が高い。ホテル稼働率も引き続き好調でコロナ前と同水準で推移。
※2020年3月はコロナ影響有りのため2019年3月と比較

【海外】 台北線、香港線、仁川線ともに需要が堅調に伸びている。空路入域客数5.5万人(※2019年3月対比24.3%)となる見通し。
※2020年3月はコロナ影響有りのため2019年3月と比較

(ホテルアンケート、航空会社等からのヒアリングをもとに算出、分析)

2. 2022年度(2022年4月～2023年3月) 入域観光客数 年度見通しについて

- ・2022年度入域観光客数:**6,728,400人**の見通し(対21年度 199.7% 対19年度 71.1%)
国内入域観光客数:**6,537,500人** 海外入域観光客数:**190,900人**

国内入域観光客数については約654万人(対19年度 93.7%)の見通し。withコロナ旅行スタイルの確立、全国旅行支援効果によりコロナ前(19年度)の90%超の水準まで回復。
海外入域観光客数については約19万人(対19年度 7.7%)の見通し。水際対策の緩和により、台湾、韓国、香港線が運航再開し、徐々に回復しつつあるが、コロナ前19年度の1割未満の水準に留まっている。

【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
企画・施設事業部 企画課 高安・与那国
TEL:098-859-6126 Mail:ocvb_yosoku@ocvb.or.jp